

はまYU



Vol.

15

2010.夏号



夏本番間近の白良浜

小児科外来

診療日／月・火曜日 午前・午後
水曜日 午前
木・金曜日 午前・午後
土曜日 午前
受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時
担当：古久保 和洋 医長

婦人科外来

診療日／月～水曜日 午前・午後
木・金曜日 午後
受付時間／午前8時半～11時半
午後1時半～4時半
診療時間／午前9時～12時
午後2時～5時
担当：國部 久也 部長



薬剤師・看護師・理学療法士
作業療法士・言語聴覚士 募集中

白浜はまゆう病院は、夜間・休日を問わず
「365日・24時間の救急医療」に対応しています。

(財)日本医療機能評価機構 認定施設複合病院(一般・療養)Ver.5.0



CONTENTS

理念・基本方針	2
理事長あいさつ	2
2010年度事業計画	3～4
2009年度診療実績	5
関節リウマチの最新治療	6～7
腹腔鏡下手術最前線	8
回復期リハビリ病棟の休日稼働	9
床頭台カードサービスシステム更新	9
禁煙教室	10
介護保険研修会	10
管理栄養士 おすすめのレシピです	11
患者さまからの声	11
●白浜はまゆう病院 外来診療担当表	

理念

基本方針

私たちは、地域に根ざした医療機関として、最高の誠実さと最大限の努力で、親切で質の高いサービスを提供し、健康・福祉のレベルの高い地域づくりを行います。

1.利用者の権利の尊重

私たちは、健康増進から看取りまで、利用者の状態のいかんにかかわらず、利用者の皆様の気持ちや権利を大切にした医療とケアを提供します。

4.利用者とのパートナーシップ

私たちは、患者・利用者の皆様との協働作業として、安全で質の高い医療・ケアを提供します。

2.地域に開かれた存在

私たちは、24時間いつでも、誰でも、困った時は気軽に受診・相談していただける、地域に開かれた医療機関・サービス提供機関を目指します。

5.事故・災害への対応

私たちは、大規模な自然災害や事故に対応できるように、普段から備えを強め、いざと言うときに頼りになる病院を目指します。

3.協力と連携

私たちは、院内各職種が手を携え、地域の他機関とも協力連携し、健康増進・診断と治療・リハビリテーション・看取りまでの一貫した包括的な地域医療と福祉を提供します。



理事長就任のご挨拶

(財)白浜医療福祉財団 理事長 水本 雄三(白浜町長)

浜木綿の花は、日当たりのよい浜辺に咲きほのかに甘い清爽な香りがします。その香りからは名状しがたい優しさが感じられます。白浜はまゆう病院の名前は、町の花である浜木綿の名前を取って命名されたことは、いうまでもないことであります。白浜はまゆう病院は、地域医療の拠点として患者様のみならず、地域住民はもとより観光客の方々に安心して白浜町で過ごしていくため欠かせない存在であります。本当にその存在は、貴重であり、大切にしていかなければならぬものです。



先輩諸兄が、これまでに機能的で多角的な病院を作ってくださったことに対して、心から敬意を表するものであります。私は、白浜はまゆう病院の理事長に就任しまして、光栄の至りとともに、責任の重大性をひしひしと感じます。その重大性とは、町民の皆様から強く要望されている耐震性のある病院の建て替え事業であり、さらなる安心した病院作りであります。安心した病院作りとは、病院名を取った浜木綿の花のような、名状しがたい優しさが満ちあふれる医療機関作りであります。微力な私ではございますが、力一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

2010年度の主な事業計画

～10年ぶりの診療報酬プラス改定!!～

「改定の本質を見極めた的確な対応が求められる」

2010年度診療報酬改定は、全体改定率+0.19%、医科+1.74%（入院+3.03% 外来+0.31%）薬価改定率▲1.36%が実施されます

改定においては、救急医療・産科・小児科・外科等の医療が重点的に評価され、急性期医療を担う病院には厚く、中小病院やケアミックスの病院は、厳しい内容になっています。

白浜はまゆう病院の主要な診療機能であるリハビリや医療療養病床では、施設運営の密度を高めなければ対象となるプラス評価が目立ち、早期の体制整備が求められています。

昨年、県から内示を受けた医療施設耐震化臨時特例交付金による本館の建替えについては、白浜町等関係団体の理解と支援を受けて、達成していかなければならない最重要課題です。本館建替えによる耐震化を図るとともに施設課題を実現することを基本方針にします。

少子高齢化の影響による人口減少が進んでおり、白浜町の65歳以上高齢化率は、30.8%に達しています。山間地域や白浜地区の定住人口の減少は特に顕著となっています。

白浜はまゆう病院が有する診療機能の中で、特に消化器疾患の診療体制、関節疾患の手術・治療、神経内科、泌尿器科、リハビリテーションなどの診療体制をより整備して、町内にとどまらず紀南地域の医療資源として提供していきます。

5つの診療所を含めての診療情報ネットワークを生かして、外来診療から入院やリハビリテーション、在宅医療支援までの医療サービスを一体的に提供し、地域の人々の生活を支えることができる病院としての歩みを進め、病院経営の業績の向上に努めます。

1. 公益事業

- (1) 「理念」「基本方針」「患者・利用者の皆様の権利と義務について」の推進に努め、年度末に見直し検討を行います。
- (2) 新公益法人制度への移行に必要な諸準備を整えて行きます。
- (3) 財政基盤・組織体制の強化に努めます。
運用財産を拡充し、自己資本比率の向上に努めます。
- (4) 院内研究発表大会を開催し、医療・ケア・サービスの向上に努めます。
- (5) 「健康教室」を定期開催し、地域住民の健康意識の向上に努めます。
- (6) 「年報」「院外情報誌」を定期発行し、財団の情報を発信します。
- (7) 白浜はまゆう病院と財団関係診療所を結ぶ診療情報ネットワークシステムの有効活用に努めます。
- (8) 新型インフルエンザ等の流行に備え、行政・医師会等と協力して、ワクチンの集団接種等にも対応できる体制の維持に努めます。

2. 白浜はまゆう病院

- (1) リハビリテーション室に「理学療法科」「作業療法科」「言語聴覚科」を設置し、各科長を配置して、組織体制を整備します。
- (2) 医療施設耐震化臨時特例交付金を活用して、本館の建替えによる耐震化事業の推進に努めます。
- (3) 病院機能評価の更新準備を進め、医療サービスの質改善への組織的・継続的な取り組みにより、より良い病院づくりに努めます。
- (4) 昨年7月より、DPC（診断群分類包括評価）に参入し、一般病床の入院において、標準化・透明化された医療を推進して、医療安全・チーム医療の推進、患者の医療への参加を得て、医療の質を高めるとともにコストパフォーマンスの高い運営を行います。
- (5) 療養病床の転換は、地域の医療・介護ニーズ、医療提供体制を踏まえ、地域の医療資源として、有効に活用できるよう調査検討し、転換方針を定めます。
- (6) 臨床研修病院の協力施設として、昨年度に引き続き和歌山県立医科大学附属病院、日赤和歌山医療センターの臨床研修医を受入します。
- (7) 整理、整頓、清潔、清掃、しつけの5S活動を院内全体の活動に広め、快適な療養環境の提供に努めます。

- (8) 増加する関節疾患治療及び人工関節置換手術等に、より専門的に対応できる医師体制及び手術体制を整備していく。仮称「人工関節センター」設置の検討を促進します。
 - (9) リハビリテーション機能の充実として、理学療法士33名、作業療法士14名、言語聴覚士5名体制とします。回復期リハビリテーション病棟の週7日稼動の早期実現に努めると共に、地域リハビリテーション広域支援センターとして、活動の充実を図ります。
 - (10) 医師派遣を受けている大学医局との関係を維持するとともに、医師求人情報の発信等あらゆる方法を駆使して医師の確保に努めます。
 - (11) 看護師確保の困難な状況が深刻化しており、看護師確保対策委員会を継続して募集の取り組みを強化すると共に、働きがいがあり定着率の高い職場づくりに努めます。
 - (12) 薬剤師不足が更に深刻化する中で、欠員となっている薬剤師が採用できるように取り組みます。
 - (13) 安全で危機に強い病院づくりを進めます。
 - (14) 診療報酬改定・施設基準の内容を見極め、対策を講じながら、収益確保とコスト管理を徹底して、健全経営の維持に努めます。

3. 西富田クリニック

- (1) 万全な医療を提供し、安心してかかるれる、心やさしいクリニックづくりを進めます。
 - (2) 白浜はまゆう病院との連携により、地域における外来診療機能の充実に努めます。
 - (3) 整形外科、小児科診療の充実・安定を図ります。
 - (4) 白浜はまゆう病院及び訪問看護ステーションたんぽぼと連携し、「在宅療養支援診療所」の体制を充実し、在宅医療の提供に努めます。
 - (5) 遠隔画像診断システム等のIT化を推進し、医療の充実に努めます。

4. 鮎川診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかるれる診療所づくりに努めます。
 - (2) 24時間体制で往診、訪問看護に対応する「在宅養生支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
 - (3) 検査シャトル便の活用等、財團関係施設との一体的な運用に努めます。
 - (4) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを活用し、財團施設間の診療情報を共有し、診断・治療の向上に努めます。
 - (5) 整形外科診療を継続して診療の充実に努めます。

5. 日置診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりを進めます。
 - (2) 24時間体制で往診・訪問看護に対応する「在宅療養支援診療所」として在宅医療の充実を図ります。
 - (3) 小児科診療の充実に努めます。
 - (4) 検査シャトル便の活用等、財団関係施設との一体的な運用に努めます。
 - (5) 電子カルテシステム・遠隔画像診断システムを有効に活用し、診断・治療の向上に努めます。

6. 川添診療所

- (1) 地域に密着した運営を行い、気軽にかかる診療所づくりに努めます。
 - (2) 白浜はまゆう病院との更なる連携を図り、地域住民が安心できる診療所運営に努めるとともに、電子カルテシステム・遠隔画像診断システムの有効活用に努めます。
 - (3) 地域の保健・福祉・介護事業所・学校と連携し、医療面での支援・協力に努めます。

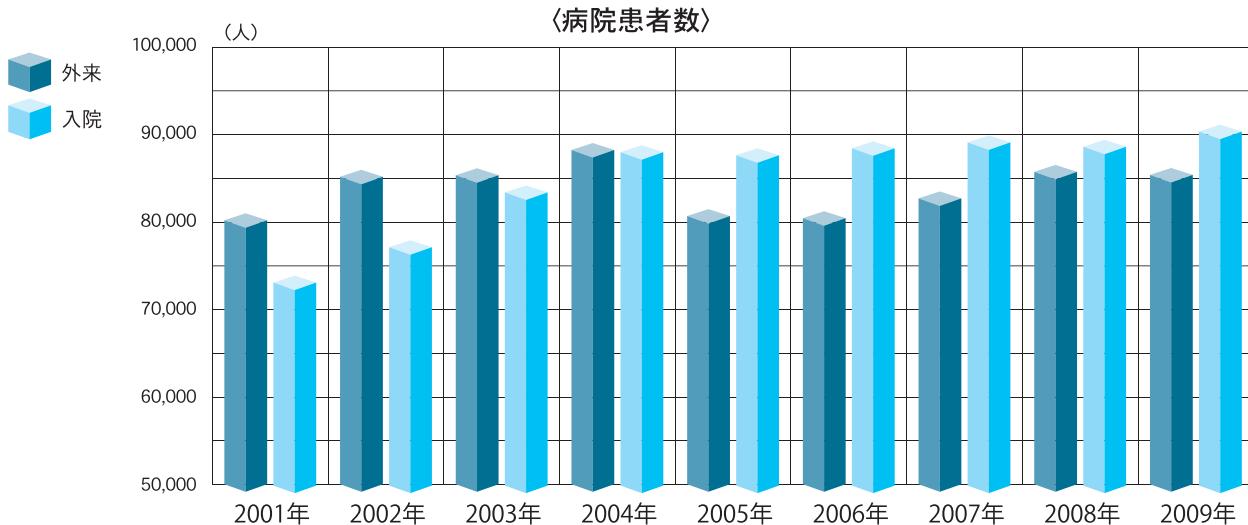
7. 訪問看護ステーションたんぽぽ

- (1) 積極的な訪問活動を推進し、訪問事業の円滑な運営を行います。
 - (2) 他の事業者との連携を大切にして、サービスの円滑な提供に努めます。
 - (3) 訪問看護師(11名)・リハビリスタッフ(PT・OT4.5名、ST0.5名)体制とし、利用者が安心してサービスが受けられるよう努めます。
 - (4) より質の高い看護・リハビリの提供に努めます。

いつでも
だれでも
みんなが、
あんしん。



2009年度診療実績



		2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年
病院患者数	外来	80,091	85,418	85,462	88,604	80,747	80,517	83,326	85,846	85,338
	入院	73,461	77,541	84,322	88,291	87,322	88,663	89,995	88,874	90,277

※2001年泌尿器科診療開始。※2002年許可病床変更(270床)。

※2003年回復期リハ病棟開始。※2005年小児科の一時休診。※2006年小児科の再開。

※2007年脳神経外科診療開始。※2008年妊婦検診の開始。

※2009年DPC算定病院に参入。

〈主な手術と検査〉

2009年度 おもな手術件数	
人工関節置換術	156件
人工骨頭挿入術	13件
胃切除術	7件
結腸悪性腫瘍術	7件
肝動脈塞栓法(TAE)	15件
EMR 内視鏡的粘膜切除術	61件
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼術	2件
胃瘻造設	27件
腹腔鏡下手術	9件
結石碎石手術(TUL)	5件

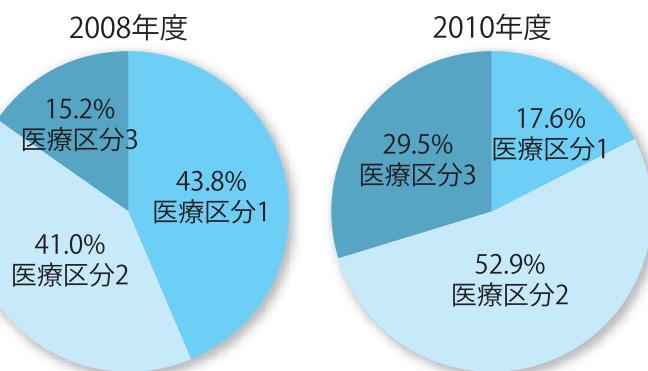
2009年度 おもな検査件数	
上部消化管内視鏡検査	2218件
下部消化管内視鏡検査	285件
胆嚢系内視鏡検査・処置	10件
気管支鏡検査	9件

〈医療療養病棟の入院患者の割合〉

当院では、療養病棟入院基本料1という施設基準を2010年6月1日より取得しています。

医療療養病棟(新館病棟3階)では、医療区分が3段階に分かれており、医療区分1から医療区分3に上がるにしたがい医療の必要性が高くなります。2008年度では4割強が医療区分1でしたが、2010年度では全体の2割以下となり、約3割が医療区分3となっています。

看護師、看護スタッフを増員し、長期療養で医療の必要性が高い患者様に対応できるよう努めています。



関節リウマチの最新治療

～温泉治療から驚異の最新治療へ～



大阪市立大学
大学院医学研究科
整形外科学
准教授

こ いけ たつ や
小池 達也

関節リウマチ専門外来(予約制)
診療時間: 第1・第2・第3火曜日
9:00~17:00
担当医: 小池 達也医師
多田 昌弘医師
岡野 匠志医師

■ 専門外来へのあゆみ

白浜はまゆう病院の前身は、国立白浜温泉病院でした。かつて、関節リウマチに対する有効な治療法がなかった頃、みんなは温泉に頼らざるをえませんでした。悲しい過去のように僕には思えますが、その結果、温泉病院には多くのリウマチ患者さんが集まってこられました。しかし、僕たち医療側に有効な武器はなく、がんばって治療はしていましたが、空砲を撃っているような虚しさがあったのも事実です。温泉病院が合併閉院され、しばらくの年月の空白の後に、白浜はまゆう病院が立ち上がった頃も状況は同じでした。やはり粗末な武器しか持っていない僕たちでしたが、多くのリウマチ患者さんが戻ってこられたので、ここ白浜はまゆう病院でリウマチ治療が再開されました。

最初は、東京女子医大から飛行機で先生が来られていましたが、そのうちに大阪市立大学から非常勤でおじやますするようになりました。東京から飛行機で来る時間より長い時間をかけて、振り子列車や自分の車で白浜に入り、アドベンチャーワールドのライオンの声で目覚めて、白浜はまゆう病院へ向かい、外来と手術をこなして再び大阪へ戻る日々は、もう一回やれといわれるとイヤですが、懐かしい日々でもあります。その後、一車線とはいえ高速道路が延びるにしたがい、関節リウマチの治療は激変し、大阪市立大学チームも変化を遂げました。ご存じのように、人工関節の専門家である金本先生率いる整形外科軍団が常勤で、白浜はまゆう病院の屋台骨を支えるようになり、僕たちは完全に関節リウマチに特化した外来ができるようになりました。それと時を同じくして、生物学的製剤というものがこの世に出現しました。

■ 新しい治療法の登場

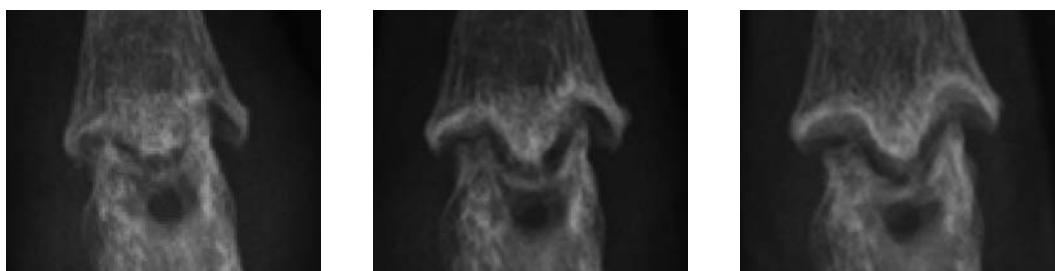
関節リウマチの原因は今も不明です。でも、発症した後に何が起こっているのかに関しては、かなり分かってきました。そして、関節リウマチ患者さんの体内に、TNFやIL-1やIL-6という物質があふれかえっているという事実から、それらを直接たきつぶす治療法が編み出されました。それが一連の生物学的製剤と言われる薬たちです。合成することができず、細胞に作らせることから「生物学的」と呼ばれます。現在日本で発売されているのは、登場順にレミケード・エンブレル・アクテムラ・ヒュミラの4剤ですが、今年中にはオレンシアという新人も加わります。これらの薬剤の特徴は、効果が非常に強力であるということで、写真に

示すように壊れてしまった関節を修復する能力を持っています。関節リウマチを治癒させるわけではありませんが、今までの治療法では望むべくもなかつた修復を成し遂げることができます。僕たち大阪市立大学チームリウマチは全体で300例を超える患者さんに生物学的製剤を使用してきました。ここ白浜はまゆう病院でも70例以上の方に使用し今までにない効果をあげています。もちろん全く安全な薬ではありませんし、値段も高いという欠点はあります。それでも、僕たちにとっては最高の武器で、抜群の切れ味の刀です。僕たちは基本的に整形外科医ですので、長い刀である手術の腕も磨いてきました。そして、ここに来て生物学的製剤という短いけれど良く切れる刀も手に入れました。二刀流で成功したのはおそらく宮本武蔵だけでしょう。それは二本の刀を同時に使うのが難しいからです。僕らも同じ状況ですが、トレーニングを続け二刀流もさまになってきました。第1・2・3火曜日に、多田・岡野・小池でリウマチ外来をやっています。リウマチ患者の皆さん、一緒にリウマチと闘いませんか？

■ 生物学的製剤を使用した治療(50歳代女性)



2008年10月 レミケード開始時の両手写真



2008年10月(開始時)

2009年5月(開始後7ヶ月)

2010年5月(開始後19ヶ月)

50歳代の女性で、リウマチの症状が非常にきつい方に対して、2008年10月からレミケードを開始しました。当初は良く効いていましたが、しだいに効果が減ってきたので、2009年5月にエンブレルに変更しました。上の大きな写真が、2008年10月の両手の写真で、下の小さい3枚の写真は、右手中指の第二関節の拡大写真です。明らかに骨と骨の間の関節が修復されています。しかも、あまり効果が絶大ではなかったレミケード投与時にすでに修復が始まっていることが驚きです。

胃がん・大腸がん・胆石症の腹腔鏡手術

～京都府立医科大学消化器外科の協力のもと
最前線の医療を提供いたします～

みなさまご存知ですか?腹腔鏡手術。

こんにちは。白浜はまゆう病院外科の曾我です。最近、「腹腔鏡手術」という言葉を病院や広告、TV、インターネットでよく見かけます。

その内容についてご存知ですか?腹腔(ふくろう)とはお腹の中のことであり、腹腔鏡とは、お腹の中を覗くために開発された直径5mmほどのカメラのことです。そして「腹腔鏡手術」とは、そのカメラを使ってお腹の中を覗きながら、5~10mmの穴を3~4箇所あけ、そこから手術器具を出し入れしながら行う手術のことです。最大の利点は、手術創が小さいために術後の痛みが少ないと、美容上優れていること、早期の社会復帰が可能であることがあげられます。しかし、欠点としては手術時間が長くなること、高度な技術が必要で手術難度が高いことがあげられます。



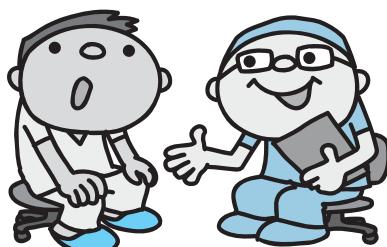
外科医長
曾我 耕次

当院では、大学病院と連携して腹腔鏡手術を積極的に導入しています。胃がん、大腸がんの手術であれば術後約10日で、胆石の手術であれば術後2~4日で退院を予定しています。また、手術創を埋没縫合としており、術後の抜糸が無いことが当科の特徴となっております。80歳以上の高齢者に対しても腹腔鏡手術施行しており、美容や早期社会復帰にこだわらない方にも好評をいただいております。腹腔鏡手術は簡単な手術ではありませんが、地域のみなさまに最前線の治療を提供できるようこれからも努力してまいりますのでよろしくお願ひいたします。



大腸ガン内視鏡下手術

最後に、腹腔鏡手術は、病気の種類や進行度、持病、既往歴(手術既往)等で施行できない場合もあります。また、切除した胃や大腸、胆嚢を取り出すために数cmの切開創が必要となるため、創の無い手術ではありません。腹腔鏡手術の詳しい説明を希望されるようであれば気軽に外科外来までご相談ください。



回復期リハビリ病棟(37床)が変わりました!

～日曜日もリハビリを行います～

本館3階「回復期リハビリテーション病棟」では、2010年6月から日曜日のリハビリテーション(以下リハビリ)を開始しています。

回復期リハビリ病棟入院患者さまの多くは、股関節や膝関節の手術後、または脳血管疾患など発症から2ヶ月以内の方です。

リハビリには、理学療法、作業療法、言語聴覚療法があり、病状に応じて医師からの処方があります。

回復期リハビリ病棟には、12名の理学療法士、4名の作業療法士を配置しており、休日を含めて手厚いリハビリ、日常生活活動の向上を図り、早期の在宅復帰をお手伝いしております。



歩行訓練の様子

6月からの在宅復帰率は83.3%となり、昨年度よりも、1.3%上昇しています。

6月からのリハビリ体制は、理学療法、作業療法、言語聴覚療法で異なります。

理学療法ではほぼ365日運営となり、回復期病棟の入院患者さまお一人当たりに、病状に応じて1日に1~2時間の個別療法をさせて頂きます。

作業療法では、平日と土曜(2週間に1回)、祝日に、お一人当たり1時間程度の個別療法をさせて頂き、言語聴覚療法では、平日に40分程度の個別療法をさせて頂きます。作業療法、言語聴覚療法については、現在のところ共に日曜日はお休みとさせていただいている。

これからも、より充実したリハビリを提供していきたいと考えておりますので、今後とも宜しくお願い致します。

◆6月からの実施体制

	理学療法	作業療法	言語聴覚療法
平 日	○	○	○
土曜日	○	2週間に1回	—
日曜日	○	—	—

床頭台カードサービスシステムが新しくなりました

6月末に3日間にわたって床頭台の入替を行いました。入院患者様、ご家族の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが、事前の呼びかけにご協力頂いたおかげで無事に入替作業を行うことができました。

今回、2011年からの地上デジタル放送に向けて、各病室のテレビを地上デジタル放送対応機種に入替致しました。カードサービスシステムも更新され、テレビカードの販売価格は変わりませんが、1枚あたりの視聴時間が900分から1,100分に延長しました。新館病棟においてはテレビを置いている床頭台も一緒に入替しております。



新館床頭台とデジタルTV

院内禁煙教室を開催

～院内禁煙促進のために～ 講師：初山 昌平 先生

白浜はまゆう病院労働安全衛生委員会では2010年6月2日当院本館2階会議室において健康教室を開催致しました。

初山歯科院長であり和歌山県介護支援専門委員協会会長でいらっしゃいます初山昌平先生をお招きし「禁煙について」講演していただきました。

初山先生は、歯科医師の喫煙率の高さから、歯科医師会での禁煙を提唱された方でもあり、今回の講演でも、喫煙の悪影響を強く主張されていました。

今回で2回目となる先生のお話は、たばこの有害が歯茎の色に影響することや、喫煙している人と、していない人の違いを双子の姉妹を通じて話され、特に皮膚の老化の違いは衝撃的でした。また喫煙が若年化していること、父親の喫煙が子供に影響しているなど受動喫煙についても知る機会となりました。就業後の時間での開催でしたが、54名の職員が参加し、喫煙者の方からはこの講演を機に禁煙したいとの感想もいただきました。



禁煙教室の様子

講演会参加者からの感想:アンケートより

- タバコの害は周囲にも影響が大きい、分かっていてもなかなか…禁煙がんばろうと思った
- 歯茎の色・歯・肌の老化をみてやめようかと思った
- 医学的にたばこがストレスを減らすという効用がないということを知り驚いた
- 初めての喫煙の6割が小学生である。女性の喫煙者は成功率が低いことに驚いた
講演を機会に禁煙者が減ることを期待したい。

職員向け介護保険研修会

～地域と医療をつなげる 8回シリーズ～

地域ケア室主催で、5月28日（金）17時40分より、松尾医師による介護保険研修会（第8回目）を当院本館2階会議室にて開催しました。

この研修会は職員が「介護保険について認識を深め、看護・介護サービスの支援を継続的かつ包括的に提供し、対象者の状況や身体的・社会的变化に応じた対応が出来るようになる」ことを目的として、2月5日より8回にわたり開催してきました。今回の「地域と医療をつなぐ」というテーマをもって、研修会の締め括りということもあり、52名の職員が参加してくれました。

介護保険研修会自体はこれで終わりとなります、これから数回に分けて実際の事例を元にケース検討会を行っていく予定となっております。今回の研修会をとおして各職種間の連携をつよめ、利用者の生活に寄り添う医療・ケアを目指していきたいと考えています。



介護保険研修会の様子

私たちが おすすめする カラダにあいしい とっておきレシピ 第7回

～低カロリーでおいしい、おからハンバーグ～

いつものハンバーグにおからを入れることにより、カロリー30%、脂質30%カット、食物繊維を摂ることができます。

ハンバーグは焼くと小さくなりますが、おからを入れるとボリュームがあり食べ応えがあるので、ダイエットには最適です。

今回のソースはバター醤油にしましたが、照焼きハンバーグ、おろしハンバーグもおすすめです。



食養科長・管理栄養士
吉川 貴子

おからハンバーグ

<1人分>

合挽ミンチ………40g
おから……………25g
玉葱……………40g
スキムミルク…2g
水……………15g

卵……………10g
塩……………0.5g
こしょう…………小々
生椎茸…………10g

<付合せ>

インゲン……………30g
人参……………20g

<バター醤油>
バター……………5g
しょうゆ…………5g

栄養価

エネルギー………205kcal 食物繊維……………5.1g
たんぱく質…………12g 塩分……………1.3g
脂質……………12g

作り方

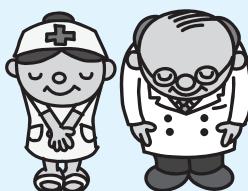
- ①玉葱はみじん切りにして耐熱皿でレンジでしんなりするまで加熱し、冷ましておく。(目安4人分で500W約2分)
- ②合挽ミンチ、おから、①の玉葱、水で溶いたスキムミルク、卵、塩、こしょうをなめらかになるまでこねる。
- ③最後に椎茸のみじん切りを加えて混ぜる。
- ④テフロン加工のフライパンを熱し、ハンバーグの形を整えて焼く。両面に焼き色がついたら、蓋をして中まで火を通す。フライパンの空いているところに茹でたインゲン、人参も焼く。
- ⑤ハンバーグ、インゲン、人参を取り出し、バター、しょうゆを入れ、ひと煮立ちさせる。
- ⑥お皿にハンバーグ、インゲン、人参を盛り付け、ハンバーグの上から⑤のバター醤油をかける。



患者さま からの Voice

Q お昼過ぎに、放射線科の技師か医師かは分からないが、大きな声で明らかに仕事と関係のない雑談ばかりしていて、たいへんうるさかった。仕事中なら論外ですし、休憩中なら患者に聞こえないようにするなどの工夫を考えるべきです。

A 職員の執務態度により、不快な思いをさせましたこと、誠に申し訳ありません。ご意見の内容は、ご指摘の部署はもとより各部門の職員に伝え、執務態度を改めるよう指導いたします。



Q シャトルバスを湯崎地区にも走らせてほしい。

西富田、白浜地区は無料バスで通院できるのに、何故湯崎に巡回してもらえないのか。湯崎の住民は、タクシー代を支払って通院しているので、負担も大きくて困っている。ぜひ平等で公平にしてほしいし、少なくとも三段バス停まで来てもらいたい。

A シャトルバスは、西富田クリニックと病院間を結ぶ路線で、西富田クリニックが開所した翌年の1999年6月から運行を開始し、現在1300名近い方にご利用を頂いております。これまで停留所の増設、便数の増加等の対応を行って、利便性の向上に努めてまいりました。

今回のご意見にありますように、シャトルバス路線外の地域の患者様、利用者様より運行エリアの拡大についてのご意見を頂くことがございます。運行の拡大については、町内を走る路線バスの運行やシャトルバスの運行スケジュール、その他運行するうえでの諸問題があり、現状ではこれ以上の路線拡大は困難な状況にあります。

事情ご賢察の上、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

白浜はまゆう病院診療担当表

電話 43-7880(受付) 43-6200(代表)

診療科		月	火	水	木	金	土	
内科	内科1(初診)	午前	山崎	佐藤	伊藤揚	藤井	辻	
		午後	藤井	木下	松本	木下	立田	
	内科2(再診)	午前	木下	伊藤浩	松尾	松尾	山崎	
		午後	松本	伊藤浩		松本	山崎	
	内科3(再診)	午前				佐藤		
		午後			佐藤		藤井	
	内科4(再診)	午前		齊藤	中川		伊藤浩	
		午後			立田		伊藤浩	
	内科5(再診)	午前		伊藤揚	谷口	伊藤揚	谷口	
		午後	辻	井神	谷口		木下	
外科 胃腸科		午前	当番医	曾我	当番医	曾我	当番医	
脳神経外科		午前				中北		
整形外科	整形1(初診)	午前	当番医	金本	岩切	金本	岩切	
		午後	ギプス装具外来					
	整形2(再診)	午前	岩切	リウマチ外来			金本	
		午前	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
	小児科	午後	古久保	古久保	古久保	古久保	古久保	
		午前	國部	國部	國部			
	婦人科	午後	國部	國部	國部	國部		
		午前					県立医大・京都大学	
	皮膚科	午後		県立医大・京都大学				
		午前						
眼科		午後		藤田				
耳鼻咽喉科		午後			県立医大			
循環器外来	午前		伊藤浩			伊藤浩		
	午後		伊藤浩			伊藤浩		
呼吸器外来	午前			松尾	松尾			
	午後							
アレルギー・呼吸器専門外来		午前		中川				
腎臓内科		午前		齊藤				
泌尿器科外来		午前	柏木	柏木	柏木	柏木	当番医	
神経内科・リハビリテーション専門外来	午前	小口	廣西	石口		小口		
	午後	廣西	石口		小口／森田			
緩和ケア外来(予約制)		午後		伊藤浩				
心療内科 漢方外来		午後		立田				
膠原病・糖尿病専門外来		午前		伊藤揚	伊藤揚			
糖尿病専門外来		午後		井神				
消化器専門外来	午前	山崎		谷口		山崎／谷口		
	午後			谷口	木下	山崎		
循環器・高血圧専門外来		午前					有田(月2回)	
関節専門外来		午前					休診	

	受付時間	診療時間
午前(月～土)	8:30～11:30	9:00～12:00
午後(月～金)	13:30～16:30	14:00～17:00
皮膚科(火)	13:00～15:45	13:30～16:00
糖尿病外来(火)	14:00～16:00	14:00～16:00
眼科(水)	12:00～14:30	12:30～15:30
耳鼻咽喉科(木)	14:00～16:30	14:30～17:00
循環器・高血圧専門外来(土)	8:30～11:00	9:00～12:00
神経内科・リハビリテーション専門外来(森田)	13:00～16:00	13:00～16:00

●休診 土曜日午後・日・祝

※診療時間外(夜間・休日)に
具合が悪くなったときは、
日時に関係なく受付します
ので、白浜はまゆう病院へ
電話で連絡ください。



(財)白浜医療福祉財団

白浜はまゆう病院 ●理事長 水本 雄三 ●院長 谷口 友志

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地

TEL.0739(43)6200 FAX.0739(43)7891 [E-mail]hamayu@mb.aikis.or.jp [URL]<http://www.hamayu-hp.or.jp/>

■西 富 田 ク リ ニ ツ ク	〒649-2334 和歌山県西牟婁郡白浜町才野1番地	TEL.0739(45)3600 FAX.0739(45)3678
■鮎 川 診 療 所	〒646-1101 和歌山県田辺市鮎川1583番地の3	TEL.0739(48)0031 FAX.0739(48)1005
■日 置 診 療 所	〒649-2511 和歌山県西牟婁郡白浜町日置206番地の1	TEL.0739(52)2002 FAX.0739(52)4192
■三 舞 診 療 所	〒649-2532 和歌山県西牟婁郡白浜町安居3番地	TEL.0739(53)0001 FAX.0739(53)0001
■川 添 診 療 所	〒646-0301 和歌山県西牟婁郡白浜町市鹿野1103	TEL.0739(54)0037 FAX.0739(54)0037
■訪 問 看 護 ス テ ー シ ｮ ン た ん ぼ	〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1447番地	TEL.0739(43)5226 FAX.0739(43)0682